

# 大山あきひこ

大阪府議会議員



公明党

2018年秋号

## ニュース



発行: 大山明彦府政事務所 〒581-0003 八尾市本町4-4-9-202  
TEL 072-999-4649 FAX 072-999-8739 E-mail: ooyama@komei-fu.com

### 大阪府議会定例会 (9月26日~12月19日)

#### 健康福祉常任委員会報告

#### 大山府議が提案した【健活10】(ケンカツテン)の取り組みで府民の健康づくりの機運醸成

府では、「健活10」(ケンカツテン)というキャッチフレーズを作り、府民の皆さんに取り組んでもらいたい10の健康づくりに関する活動を発表。市町村や民間企業とも連携をしながら、普及啓発に取り組んでいる。

大山議員がこれまで提案してきたもので、各種イベントを活用した啓発活動を進めるとともに、インパクトのある、大阪ならではのPR動画の製作、SNSでの発信や、集客力の高い駅や電車等での放映も行っていく予定。



#### 認知症の早期診断から医療・介護まで切れ目のない支援体制を充実!

認知症対策について、「発症」から「診断」「介護」の各過程で適切な助言や支援が受けられない、いわゆる空白期間があり、症状が進んでしまう高齢者が多いことを訴えた。

府は、切れ目なく支援するため、全市町村に「認知症初期集中支援チーム」を設置、その後の対応を引き継ぐ「認知症地域支援推進員」も配置する。さらに、認知症サポート医の養成を行うとともに、かかりつけ医や歯科医師、薬剤師等の認知症対応力向上のための研修を実施する。

#### 子どもの貧困対策を強化! 子ども食堂、学習支援、ひとり親家庭への就労支援を充実!

子どもの貧困対策の大きな柱は、学校をプラットフォームとした総合的な支援施策の実施と、大山府議は訴える。府では、「子どもの貧困緊急対策事業補助金」を創設し、市町村の取り組みを後押しする。地域や学校における見守りにより、課題を有する子どもや保護者を発見し、課題に応じて必要な支援につなげる。

ひとり親家庭への就労支援では、母子家庭等就業・自立支援センターに新たに専門職員を配置し、一層の求人開拓を進める。

＼やりました＼

### 大山あきひこの主な実績

＼できました＼

府民の皆様から寄せられる様々なご意見、ご要望などをもとに実現させてきた政策のうち、主なものを紹介します。

#### ① 国際観光都市にふさわしい受け入れ環境を整備

平成26年1月から無料でインターネットに接続できる「Osaka Free Wi-Fi」を提供、現在は駅やホテル、商店街、飲食店など府内5000か所を提供しています。平成29年3月には大阪駅に観光案内や旅のトラブルに対応する愛称「おもてなしステーション」を開設、平成29年度は年間約32万人の利用がありました。



▲京阪天満橋駅構内のOsaka Free Wi-Fiサイン

#### ② 中小企業の事業承継を応援

平成30年度から3年間に事業承継の集中取り組み期間とし、商工会議所等への補助金を活用した経営指導員による事業承継診断を実施しています。5月には大阪商工会議所内に総合相談窓口の「事業承継相談デスク」ができました。

#### ③ LINEを活用したいじめ相談を実現

政令市を除く府内の中学校、高校、支援学校の中学部・高等部の生徒約39万人を対象に平成30年度は年間50日実施します。



#### ④ 「子どもの貧困対策」でオール大阪の体制を構築

「子ども食堂」を開きたい人や運営している人の相談窓口「子ども食堂コンシェルジュ」を開設しました。学習支援も大学生や教員OBを対象としたボランティアを募集し、子ども食堂とマッチングを図ります。



▲子ども食堂コンシェルジュ

#### ⑤ 大阪版「健康マイレージ」を導入へ

特定健診やがん検診の受診、健康づくりイベントへの参加などを通し、個人に健康づくりポイントを付与、たまったポイント数に応じ電子マネーへの換金など特典がもらえる仕組みです。平成31年1月、大阪市、門真市、岬町のモデル実施を皮切りに同10月から府内全市町村で実施する予定です。

